茶情報

No.１８５号　令和7年9月30日

発行所　三重県茶業会議所

三重県津市栄町１丁目960番地
JA三重ビル７階　JA全農みえ内
TEL（０５９）２２６－８５５１
FAX（０５９）２２７－９６５４

令和７年度通常総会を開催

令和7年度、三重県茶業会議所通常総会は、6月11日（水）プラザ洞津（津市）で、役員会に引き続き開催いたしました。

62名の代議員中、20名出席と28名の委任状により、上程されました議案はすべて原案通り承認されましたのでその概要を記載いたします。

令和7年度事業計画

お茶は、人々の暮らしの中に深く溶け込み、生活にゆとりと潤いをもたらす飲み物として広く利用されてきましたが、近年、日本茶の需給バランスが崩れ価格低下を招くとともに、物価の上昇による消費者の買い控えや適正な価格転嫁が進まないなかで、燃料、肥料等資材の高騰や流通コストの増加、労働人材の不足等により、生産者・商工業者など茶業関係者は厳しい経済環境におかれています。さらに、世界的な展開を見せる抹茶ブームは、国内の需給バランスや価格変動への影響が懸念されています。

こうした状況のなか、国、県、市町においても様々な事業継続や販売促進のための支援措置が講じられ、当会議所の会員においても、こうした事業を積極的に活用して自らの経営の維持と将来の発展を目指した活動が行われています。

一方で、これまで取り組んできた三重県で生産された安全・安心で良質な「伊勢茶」を消費者に飲んでいただくことや「伊勢茶」に関する歴史・文化などの情報発信、ブランド力の向上については、より一層の工夫が必要となっています。

そこで、本年度は、将来に向けての伊勢茶産地の体質強化を念頭において、生産者、加工・流通業者等が一体となって英知を結集し、下記の基本方針に沿い、伊勢茶ブランドの需要拡大・浸透を図って行きます。

目　次

1、令和7年度通常総会を開催 …… 1
2、役員及び役職の一部変更 …… 4
3、三重県茶業会議所　代議員・役員名簿 …… 5
4、令和6年度事業報告 …… 6
5、三重県茶業会議所茶業振興費徴収規定 …… 10
6、関係組織の令和7年度活動計画の概要紹介 …… 11
7、トピックス
　神宮へ新茶奉納 …… 12
　三重県知事への新茶贈呈 …… 12
　2025大阪・関西万博で
　　伊勢茶を積極的に情報発信 …… 13
　観光誘客に伊勢茶も一役 …… 15
　関西茶品評会における
　　上位入賞に向けた研修会 …… 15
　第79回全国茶品評会及び
　　第77回関西茶品評会の情報 …… 16
8、お知らせ …… 16
9、伊勢茶品評会を開催 …… 17

○伊勢茶のブランド力強化・消費拡大

本年度開催される2025大阪・関西万博への参画等により、日本茶の文化的価値やお茶のもつ機能や効能等とともに、伊勢茶の特徴や良さをわかり易く情報発信し、県内外の消費者・実需者に対してお茶のある暮らしに向けた生活スタイルの提案を行います。

○良質な伊勢茶の生産・経営基盤の強化

三重県茶業が将来に向け安定的に持続するため、県・市町や関係団体等と連携して、高品質なお茶の生産、計画的な茶樹の更新、経営コスト及びリスクの削減、担い手の育成などに取り組みます。また、輸出拡大を意識した有機栽培等の推進も行います。

○消費者に信頼される安全安心な伊勢茶づくり

生産から加工・流通、消費に至る安全・安心の確保に向け、GAPの取得による品質管理・生産工程管理やHACCPの考え方を取り入れた衛生管理等を進めます。

○茶業関係組織の体質強化

県内茶業界を牽引してきた各組織等においても、事業縮小が余儀なくされるなかで、世代交代が進んでいることから、令和8年度三重県開催予定の関西茶業振興大会への準備活動等をきっかけとして、将来に向けての組織体質強化や人材育成などに取り組みます。

（伊勢茶のブランド力強化・消費拡大）

1　伊勢茶リーフの需要拡大事業（継続）

「淹れ方教室」を通じリーフ茶の需要拡大を図るとともに、地域の茶業組合による小中学校生を対象にした「お茶でうがい運動」の支援活動等、伊勢茶のPRを行い、緑茶ファンを増やす運動に取り組みます。

・「淹れ方教室」の開催

(1) 高等学校、一般グループ、イベントなど様々な対象や場面における淹れ方教室の実施

(2) 伊勢神宮「伊勢茶接待所」開設

以上の事業については、県茶業青年団、県茶生産青年会、日本茶インストラクター協会三重県支部、伊勢茶推進協議会の協力を得て実施します。

(3) 伊勢茶の認知度向上のためのイベント等への参画

県及び関係団体等が実施するイベント等に積極的に参画します。

2　伊勢神宮「伊勢茶（新茶）」奉納事業（継続）

本年で22回目となる伝統的な行事として、新聞、テレビ等でのPR効果も期待出来ることから引き続き実施します。

3　伊勢茶認証店支援事業（継続）

本年度も引き続き申請を受け付け、情報発信方法の工夫等による制度の充実を図り、伊勢茶の認知度向上・販売促進を目指します。

4　2025大阪・関西万博への参画事業

農林水産省出展の日本茶ブース、関西パビリオン三重県ブースの美し国バザール等に、三重県、伊勢茶推進協議会、日本茶インストラクター三重県支部等と連携して参画します。

（良質な伊勢茶の生産・経営基盤強化）

5 「第2期伊勢茶リフレッシュ運動」推進事業（継続）

7年度も国の茶改植等支援事業に取り組みます。

・国補事業：茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進

令和7年度公募採択済み（5組合）　補助金額　約7,000万円

改植12.2ha、新植4.3ha、台切り0.6ha、直接被覆（てん茶）9.3ha

有機転換4.5ha、輸出体系転換11.1ha

農業機械リース事業（乗用摘採機1台、乗用管理機1台）

6　茶セーフティネット事業（継続）

燃料（A重油に加えてガスも対象）価格高騰を受けて事業を実施します。

・令和7～9年度（2期目）の実施

令和7年度加入者　93茶工場　燃料補填積立金　約2億8千万円

7　伊勢茶振興助成等事業（継続）

(1) 生産技術等課題解決のための調査・分析事業（委託または共同実施）

生産等技術課題（農薬、肥料等の価格高騰対応等）の解決を研究機関や大学等と連携して進めます。（1件10万円　1から3件程度）

・実施課題

「一番茶新芽を加害するマダラカサハラハムシ越冬成虫の発生量調査法と被害推定モデルの開発」（三重県農業研究所）他

(2) 出品強化茶園（仮称）設置事業

三重県と連携して、令和8年度三重県開催の関西茶品評会での上位入賞に向けた取組みを支援します。

8　品質向上・品評会参加事業（継続、一部新規）

茶生産技術の向上と良質伊勢茶生産の発揚の場として、関係機関の協力を得て伊勢茶振興大会を開催するとともに、各種品評会への参加を促し、上位入賞を目指します。

(1) 第48回伊勢茶品評会及び第48回伊勢茶振興大会の開催

(2) 第79回全国茶品評会（奈良県）及び第77回関西茶品評会（京都府）

(3) 出品茶品質向上奨励金の交付

9　有機栽培及び伊勢茶輸出推進事業（新規）

三重県農林水産物・食品輸出促進協議会や伊勢茶輸出プロジェクトと連携し、有機栽培や伊勢茶の輸出を推進します。

(1) 伊勢茶の有機栽培現地実証データの収集

伊勢茶輸出プロジェクトからの委託を受け、有機栽培を実践する生産者を支援します。（実証費用　約500万円）

（消費者に信頼される伊勢茶づくり）

10 「安全安心な伊勢茶づくり運動」推進事業（継続）

食品衛生法の改正への対応やグローバルGAPの認証取得は、伊勢茶の安全安心の高度化、さらには茶の輸出促進にも寄与することから、取得に向けた支援を行います。

（組織活動の強化）

11　地区茶業組合等活動助成事業（継続）

地域における組合活動の活性化と「伊勢茶の需要拡大」、「伊勢茶リフレッシュ運動」、「安全安心な伊勢茶づくり運動」への取り組みを強化するため茶業組合等へ助成します。なお、特別枠として、関西茶品評会三重県大会での上位入賞に向けての手摘み隊（仮）の整備にむけた活動等も助成対象にします。

12　後継者等育成組織助成事業（継続）

後継者育成の重要性に鑑み、後継者等育成組織の活動を支援します。

（県茶業青年団、県茶生産青年会、県手もみ茶技術伝承保存会、日本茶インストラクター協会三重県支部）

13　茶情報等の発行（継続）

茶情報（年2回）及び技術情報等を発行します。

［役員及び役職の一部変更］

組織代表者等の変更に伴い、次のとおり役員が代わりました。

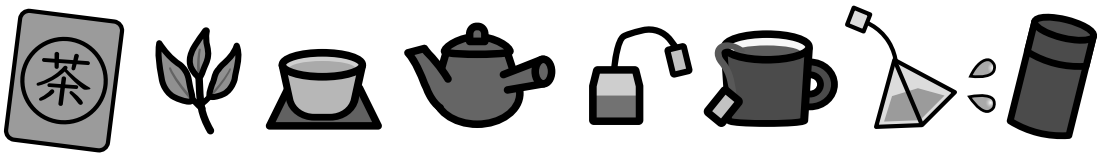
選出組織	退任役員	新任役員
四日市茶業連合会	豊田宗浩	豊田宗元
関町茶業組合	伊藤ちなみ	伊藤彦太郎
県茶業青年団	水野翔一	佐野公宣
県茶生産青年会	伊川純也	矢田敦裕

ティーバッグ加工・
ティーバッグ個包装充填加工 承ります。

三重県 SDGs 推進パートナー

茶袋の作成から各種ティーバッグ加工・
ティーバッグ個包装充填加工まで幅広く
対応いたします。

お気軽にご相談ください。
担当：村林 090-7607-4666



株式会社タマヤ 三重県総代理店　有限会社 村幸
〒515-0025　三重県松阪市和屋町 330-4
TEL0598-28-2250　FAX0598-28-4778

※自社工場にてティーバッグ加工・ティーバッグ個包装充填加工を行なっています。

三重県茶業会議所　代議員・役員名簿

任期：R5年6月～R8年6月

構成団体名	代議員	内役員	代　議　員　名	役　員　名
全農三重県本部	2	1	大瀬憲一、前田順士	大瀬憲一
県茶商工業協同組合	4	4	安田　伸・中嶋浩喜・川原　登 伊藤貴彦	安田　伸・中嶋浩喜 川原　登・伊藤貴彦
三重茶農業協同組合	4	2	豊田栄之・大野博司・中尾伸次 原　　誠	豊田栄之・大野博司
桑名市茶業組合	1	1	伊藤公一	伊藤公一
いなべ市 大安町茶生産組合 北勢町茶業組合	2	1	伊藤哲也・片山善紀	伊藤哲也
菰野町茶生産組合	2	1	矢田長衛・片岡正人	矢田長衛
四日市茶業連合会	9	4	矢田宗久・田中宏典・<u>豊田宗元</u> 清水克司・鎌田俊充・伊藤俊也 小林賢二・本郷圭三・古川真幸	矢田宗久・田中宏典 <u>豊田宗元</u>・清水克司
鈴鹿市茶業組合	7	3	水野純志・前田　有・山際基司 <u>瀬古末彦</u>・<u>澤田則生</u>・<u>上田康博</u> 市川　晃	水野純志・前田　有 山際基司
亀山市茶業組合	3	2	一見守一・市川泰三・伊達謙二	一見守一・市川泰三
関町茶業組合	1	1	<u>伊藤彦太郎</u>	<u>伊藤彦太郎</u>
芸濃町茶生産組合	1	1	竹尾和郎	竹尾和郎
久居・一志茶業組合	3	1	横谷　威・山中重範・菅尾充孝	横谷　威
松阪市茶業組合	4	2	中村吉勝・岡本孝雄・髙橋　徹 村瀬貴昭	中村吉勝・岡本孝雄
多気町茶業組合	3	1	加藤健一・大西正巳・大嶋博文	加藤健一
大台町茶業組合	3	2	中西一浩・松田典久・西村光弘	中西一浩・松田典久
松阪市茶商組合	2	1	塚本泰弘・杉本怜子	塚本泰弘
伊勢市茶商組合	1	1	永井一誠	永井一誠
大宮町茶振興協議会	1	1	西村敏博	西村敏博
度会町茶業組合	3	2	中森　大・喜多嘉一・畑中勇作	中森　大・喜多嘉一
伊賀茶業組合	1	1	北森　徹	北森　徹
県茶業青年団	1	1	<u>佐野公宣</u>	<u>佐野公宣</u>
県茶生産青年会	1	1	<u>矢田敦裕</u>	<u>矢田敦裕</u>
県手もみ茶技術伝承保存会	1	1	市川　晃	市川　晃
学識経験者	2	2	鎌田隆郎・後藤健治	鎌田隆郎・後藤健治
計	62	38		

※下線の方は新しい代議員・役員です

顧　問	田中利宣

令和６年度事業報告

（伊勢茶の生産流通状況等）

令和6年度の茶の状況は、抹茶やドリンク用で特需が生まれ、併せて輸出も順調に伸びて、需要の拡大を期待させる一面も見せましたが、煎茶など茶種によっては厳しい状況に追い込まれました。こうした需要の変化の波が、全国の茶産地にも大きく影響し、茶種の変換や生産・流通構造の変化をもたらし始めました。

しかしながら、茶産地に目を向ければ、担い手不足による茶園の荒廃化や茶園面積の減少等慢性的な課題に加えて、近年の燃油や肥料等資材の高騰、茶単価安の厳しい状況となっており、これらの状況を打破するため、販路の確保・拡大の計画、生産・構造改革のための地域計画、これらの実践のための設備投資の計画などを必死に考え、実践してきています。

また、県議会にも「伊勢茶の振興に関する条例」の策定に向けての調査・検討を行う特別委員会が設置されました。

茶業会議所としても、こうした状況を十分認識したうえで、会員に寄り添うことを意識しながら、以下のような事業を実施しました。

（事業の概要）

令和6年度については、前年度に引き続き

(1) 伊勢茶のブランド力強化・消費拡大
(2) 良質な伊勢茶の生産・経営基盤の強化
(3) 消費者に信頼される安全安心な伊勢茶づくり
(4) 茶業関係組織の体質強化

を基本方針として取り組みました。

1　総会・役員会等

(1) 令和6年度総会

令和6年6月13日（木）プラザ洞津3階孔雀の間　令和6年度通常総会

(2) 役員会等

・総務理事会　　令和6年6月4日（火）（農業共済組合桜橋会館）
　令和6年度総会提出議案について
・役員会　　令和6年6月13日（木）（プラザ洞津）
　令和6年度総会附議事項について
・総務理事会　　令和6年10月28日（月）農業共済組合桜橋会館
　茶業功績者の選定について
・役員会　　令和6年10月28日（月）（農業共済組合桜橋会館）
　第47回伊勢茶振興大会他、今後の事業実施計画について
・役員会　　令和7年3月7日（金）（県総合文化センター生涯学習棟4F中研修室）
　6年度事業実績報告（案）・次年度事業方針（案）

(3) 監査会

令和6年5月29日（水）（農業共済組合桜橋会館）5年度監査

(4) 要望活動等

・知事と農業団体との意見交換会　　9月10日（火）　会頭出席

・県議会「伊勢茶の振興に関する条例」の策定に向けての調査・検討特別委員会
参考人聴取、意見交換、現地視察等に対応

2　伊勢茶リーフの需要拡大事業

高等学校等を対象とした「淹れ方教室」の開催や小中学校生等を対象とした地域の茶業組合による活動の支援により、伊勢茶の知名度向上及び需要拡大、緑茶ファンの拡大に取り組みました。

(1) 高等学校を対象とした「淹れ方教室」の開催

四日市西高校、四日市四郷高校、四日市農芸高校、あけぼの学園高校、稲生高校、飯南高校、久居農林高校、松阪高校、四日市商業高校、明野高校、桑名北高校、朝明高校、菰野高校、いなべ総合学園高校、西日野にじ学園、桑名高校：定時制合計のべ17校651名の学生を対象に、三重県茶業青年団の皆さんが実施しました。

(2) 伊勢神宮「伊勢茶接待所」開設

12月31日～1月2日

県茶業青年団員及び県茶生産青年会員とそれ以外に呼びかけた7名（会議所関係者2名、大学生5名）により、伊勢神宮外宮において呈茶を行いました。

3　伊勢神宮「伊勢茶（新茶）」奉納事業

21回目となる新茶の奉納を令和6年4月22日（月）、会頭、手もみ茶保存会会長等15名（茶娘含む）で奉納しました。

4　伊勢茶認証店支援事業

本年度認証店を1件追加しました。(楽風園　市川)

5　「第2期伊勢茶リフレッシュ運動」推進事業

5茶業組合36戸の皆さんにより、改植8.1ha、新植3.1ha、台切り0.8ha等が実施されました。

6　茶セーフティネット事業（燃油価格高騰対策）

燃油価格高騰を受けて令和6年度は93工場が加入し、約2.6億円補填のための資金造成（国費1/2）をしました。

4月～10月までに、約0.75億円が補填されました。

7　伊勢茶振興助成等事業

(1) 生産技術等課題解決のための調査・分析事業

ア　三重県工業研究所と「防霜ファンモニタリング装置の開発」にかかる共同研究を実施しました。

イ　三重県農業研究所茶業研究課と「茶園における施肥効率の向上に向けた葉面散布を含む液肥の利用効果の検証」にかかる共同研究を実施しました。

(2) 伊勢茶新商品及び新サービス開発支援事業

県の補助事業「伊勢茶新商品・新サービス展開事業費補助金」への会員応募者のフォローアップとして予算化しましたが、ほぼ採択されたので6年度の実施はありませんでした。

8　品質向上・品評会参加事業

茶生産技術の向上と良質伊勢茶生産の発揚の場として、第47回伊勢茶品評会を開催するとともに第78回全国茶品評会、第76回関西茶品評会に参加しました。

(1) 伊勢茶品評会及び伊勢茶振興大会の開催

第47回伊勢茶品評会を県茶業研究課（亀山市)、伊勢茶振興大会をプラザ洞津（津市）で開催しました。

【日程】

項　目	月　日	関係者数	場　所
見本採取	8月6日（火）	4名	県茶業研究課
サンプル作成	8月20日（火）	20名	〃
成分分析	8月21日（水）	審査員3名、補助員2名	〃
審査会 官能審査	9月5日（木）	審査員13名、補助員47名	〃
審査会 価格審査	9月6日（金）	審査員10名、補助員16名	〃
擬賞会			
伊勢茶振興大会	11月26日（火）	来賓、茶業関係者約100名	プラザ洞津

【出品点数等】

	普通煎茶	深蒸し煎茶	かぶせ茶	計
出品茶数	36	35	36	107
出品組合数	8	4	5	8
入賞数	1等	2等	3等	計
	9	9	15	33

【伊勢茶品評会特別賞】

（普通煎茶の部）

農林水産大臣賞　三重県知事賞	㈲萩村製茶　萩村　和樹	四日市市
東海農政局長賞　三重県議会議長賞	㈲萩村製茶　萩村　浩史	四日市市
全国茶生産団体連合会長賞	木下　辰美	大台町

（深蒸し煎茶の部）

農林水産省農産局長賞　三重県知事賞	㈲深緑茶房　高尾　哲也	松阪市
三重県議会議長賞　(公社) 日本茶業中央会長賞	㈲深緑茶房　仁田　勲	松阪市
関西茶業協議会長賞	㈲茶工房香肌	松阪市

（かぶせ茶の部）

農林水産大臣賞　三重県知事賞	㈲萩村製茶　萩村　浩史	四日市市
東海農政局長賞　三重県議会議長賞	㈲萩村製茶　萩村　重美	四日市市
全国茶商工業協同組合連合会理事長賞	㈲萩村製茶　萩村　和樹	四日市市

【産地賞】

順　位	市　町　名	説　明
1　位	松阪市	関西茶品評会及び伊勢茶品評会での評価点数を加味した総合評価
2　位	大台町	
3　位	四日市市	

振興大会では、地域の茶産地でご活躍いただき功績のあった次の2名の方を茶業功績者として表彰しました。

・中角　徹　氏　松阪市飯南町粥見

・浮田　斎　氏　大台町長ケ

また、講演会（79名参加）及び懇親会（49名参加）も開催しました。

(2) 第78回全国茶品評会及び第76回関西茶品評会の参加

第78回全国茶品評会（静岡県）及び第76回関西茶品評会（愛知県）に参加し、全国茶品評会には、普通煎茶10kg1点、4kg4点、かぶせ茶19点の計24点を、関西茶品評会には、普通煎茶40点、深蒸し煎茶31点、かぶせ茶24点の計95点を出品しました。

第78回全国茶まつり静岡大会

【日程】

	月　日	場　所
全国茶品評会	8月27日（火）～30日（金）	㈱静岡茶市場
入札販売会	9月12日（木）	㈱静岡茶市場
式典・褒賞授与式	11月2日（土）	浜松市福祉交流センター
審査技術競技大会	11月1日（金）	㈱静岡茶市場
全国茶生産青年意見交換会及び茶業青年の夕べ	11月1日（金）	浜松市

【出品点数等】

	普通煎茶		かぶせ茶	玉露	てん茶	総計
	10kg	4kg				
出品茶数　県	1	4	19			24
全体	103	101	78	100	108	787
出品都府県数	7	14	8	6	7	18

第76回関西茶業振興大会愛知大会

【日程】

	月　日	場　所
関西茶品評会	7月31日（水）～8月2日（金）	豊田市民文化会館
入札販売会	9月5日（木）	西三河農協本店
褒賞授与式	11月16日（土）	西三河農業協同組合事務センター

【出品点数等】

	普通煎茶	深蒸し煎茶	かぶせ茶	総計
出品茶数　県	40	31	24	95
全体	117	34	55	371
出品都府県数	6	2	4	6

【関西茶品評会特別賞】

（深蒸し煎茶の部）

農林水産大臣賞	㈲茶工房香肌　村瀬　貴昭	松阪市
農林水産省農産局長賞	㈲茶工房香肌　森本　芳樹	松阪市

【産地賞】

普通煎茶の部	3位　大台町
深蒸し煎茶の部	1位　松阪市

(3) 出品茶品質向上奨励金の交付

関西茶品評会で1等に入選された深蒸し煎茶の部　松阪市 ㈲茶工房香肌　村瀬貴昭氏、松阪市 ㈲茶工房香肌　森本芳樹氏に出品茶品質向上奨励金を贈呈しました。

9　有機栽培及び伊勢茶輸出推進事業（新規）

三重県農林水産物・食品輸出促進協議会や伊勢茶輸出プロジェクトと連携し、有機栽培や伊勢茶の輸出を推進しました。

(1) 伊勢茶の有機栽培現地実証データの収集

伊勢茶輸出プロジェクトからの委託を受け、有機栽培へ転換した生産者を支援しました。（実証ほの設置　生産者9名　役務費の支給、残留農薬分析）

10 「安全安心な伊勢茶づくり運動」推進事業

GAP認証の維持経費負担を軽減するため、市場等中心となった団体認証を推進しました。

11　地区茶業組合等活動助成事業

地域における組合活動の推進と「伊勢茶の需要拡大」、「伊勢茶リフレッシュ運動」、「安全安心な伊勢茶づくり運動」への取り組みを強化するため茶業組合等へ助成しました。

12　後継者等育成組織助成事業（継続）

後継者育成の重要性に鑑み、後継者等育成組織の活動を支援しました。

（県茶業青年団、県茶生産青年会、県手もみ茶技術伝承保存会、日本茶インストラクー協会三重県支部）

13　茶情報等の発行（継続）

茶情報（年2回）及び技術情報等を発行しました。

三重県茶業会議所茶業振興費徴収規定

三重県茶業会議所（以下「会議所」という。）の運営並びに事業推進のため茶業振興費を次により徴収する。

1．茶業振興費の賦課金

三重県内で生産された荒茶1kgについて

荒茶割（県内県外を問わず売手）3円、買入割（県内県外を問わず買手）3円

2．徴収方法等

⑴　県内茶市場で取引した茶

荒茶割3円、買入割3円を茶市場が徴収代行し、6円を茶市場が会議所に納入する。

ただし、徴収額がその年度の茶市場荒茶取引量から計算した額に達しないときは、その差額（荒茶取引量から計算した額－徴収代行額）を茶市場負担の茶業振興費として茶市場が会議所に納入する。

⑵　県内茶市場外（県内茶商工業者）で取引した茶

荒茶割3円を茶商工業者が徴収代行し、茶商工業者は買入割3円を加算して6円を会議所に納入する。

⑶　茶生産者が県内茶市場、県内茶商工業者等以外（直売又は県外茶市場、県外茶商工業者等）に販売した茶については1kg当たり6円を茶生産者が会議所に直接納入する。

⑷　⑵、⑶については、茶業振興費の徴収額（推定額）を割当てることができる。

3．納入方法

茶業振興費の納入は、7月、9月、12月、2月の各月末日に各期間分を会議所に納入し、2月末日以降の分は年度末に納入する。

4．付　則

⑴　この規定は、毎年度の会議所総会において当該年度の実施について承認を得なければならない。

⑵　この規定は、平成12年度産茶から実施する。。

［振 込 先］（郵便振込の場合）

口座　00870－6－91091

口座名義　三重県茶業会議所

（銀行振込の場合）

百五銀行県庁支店　普通預金　№3310

口座名義　三重県茶業会議所

会頭　鎌田　隆郎

関係組織の令和７年度活動計画の概要紹介

伊勢茶推進協議会

県内市場（三重茶農協、全農みえ）、三重県茶業組合連絡協議会、三重県茶業会議所で組織構成し、伊勢茶の啓蒙宣伝活動と消費拡大及び安全安心な生産流通を図っています。

本年度の重点事業の大阪・関西万博でのPRに当たっては、茶業会議所と連携しながら伊勢茶のPRに取組みます。

○令和７年度活動状況（令和７年４月１日から令和８年３月31日）

昨年度に引き続きSNS・Eツールの拡充を基本として、行政が取り組む「伊勢茶マイボトルキャンペーン」にも積極的に参画するとともに、県内娯楽施設や観光施設（大阪・関西万博を含む）における消費拡大イベンドを実施します。

日本茶インストラクター協会三重県支部と伊勢茶宣伝活動において連携を図って行く。

また、生産対策面では、伊勢茶GAPシステムの普及を行政と進めます。

(1) 広告宣伝対策
　①SNSツールを活用した伊勢茶宣伝広告活動
　②伊勢茶野立看板継続申請手続き

(2) 消費・販売宣伝対策
　①行政と連携したマイボトル普及活動（伊勢茶Boxの普及）
　②日本茶インストラクター協会等団体との連携
　③県内娯楽施設や観光施設における消費拡大イベンド
　④伊勢茶ECサイトの運営

(3) 生産対策
　①生産管理システムの構築と推進
　②安全・安心伊勢茶づくり支援（市場出荷検査袋と茶出荷表・製茶記録用紙）

三重県の令和７年度計画

三重県では、厳しい茶業界の現状踏まえて、伊勢茶振興計画を改定するとともに、伊勢茶振興プロジェクト推進会議を設置し、様々な取り組みが実施されています。また、本年度から、観光との連携を柱とした伊勢茶ブランド戦略会議も設置されました。

その概要の一部を以下のとおり紹介します。

○産地構造改革プロジェクト

未来の三重の茶産業のため、地域の茶産地が抱える課題について個別チームを立ち上げ、解決に取り組みます。（令和７年度は９地区）

○伊勢茶消費拡大県民運動プロジェクト

・伊勢茶マイボトルキャンペーン（と、伊勢茶。）の普及定着
・伊勢茶の新たな需要の創出（伊勢茶利用加速化キャンペーン）
　伊勢茶を使ったメニュー開発に取り組む飲食店を募集

令和７年度伊勢茶利用加速化キャンペーン

・県内外でのプロモーション活動
　中学、高校での伊勢茶PR、観光業者向け伊勢茶研修等
　Ise Cha Promotion Award（ICPA）（学生が考えた伊勢茶を盛り上げるアイデアを発表するイベント）の実施

○伊勢茶輸出プロジェクト

令和7年計画

1　地域の関係者による輸出推進体制の組織化
　ターゲット国（ドバイ、台湾等）において、アドボカシー・マーケティングが展開できるアドボケイツ兼現地カウンターパートの育成

2　生産・流通体系の転換を通じた大規模輸出産地のモデル構築
　有機栽培転換実証

○伊勢茶ブランド戦略会議

「インバウンドを含めた県外からの観光客を伊勢茶産地に誘客する戦略」づくり

トピックス

（4月以降の主な出来事）

神宮へ新茶奉納

令和7年4月23日（水）伊勢神宮（内宮）に伊勢茶（新茶）の奉納も今年で22回目を迎えました。

あいにくの雨天でしたが、開始時間には雨もあがり、三重県茶業会議所鎌田会頭と三重県手もみ茶技術伝承保存会中森会長を先頭に、県内茶業関係者約15名が隊列を組んで奉納を行い、日頃の感謝と今年の茶業の盛況を祈願いたしました。

三重県知事への新茶贈呈

5月26日（月）には、三重県庁を訪問し、一見勝之知事へ新茶贈呈を行いました。

中瀬古初美伊勢茶の振興に関する条例策定調査特別委員会委員長と枡谷典子県農林水産部長にも同席いただき、贈呈茶の試飲や茶の情勢等の意見交換も行いました。

贈呈したお茶は、伊勢神宮へも奉納した大台町のハウス栽培による煎茶、度会町産の茶葉を三重県手もみ茶技術伝承保存会会員が手もみ製茶した茶です。

一見知事には、新茶をおいしく飲んでいただき、合わせて伊勢茶への強い思いを聞かせていただきました。

2025大阪・関西万博で伊勢茶を積極的に情報発信

伊勢茶のブランド力強化のため、大阪・関西万博を絶好の機会と捉えて、種々の関係事業には、積極的に参画し、伊勢茶の特徴や良さをわかりやすく情報発信しました。

・日本茶の政府出展

「食と暮らしの未来ウイーク」期間中（6月8日（日）～15日（日））に農林水産省等による日本の食・農林水産業の魅力を発信するための出展（会場EXPOメッセ「WASSE」）のなかの日本茶に関するブースにおいて、日本茶業中央会を中心とした関係機関連携による実施体制のもと、日本を代表する産地の一つとして、6月8日、9日の2日間伊勢茶の試飲等を実施しました。

本県の参画にあたっては、NPO法人日本cha茶ちゃ（代表　松本浩）様の協力を準備段階から得ていたこともあり、多くの来客者から伊勢茶の高評価をいただきました。

日本茶ブース
バックヤードで試飲茶を淹れた
時間により淹れ方実演

オープニングセレモニーで主催者
挨拶された山本佐知子農林水産政務官に真っ先に訪問いただいた

切れ目のない多くの来場者

茶器（万古焼含む）も展示

・美し国　三重バザール

関西パビリオン併設の多目的エリアで実施されたイベント「美し国三重バザール」にも、県や三重バザール事務局の依頼により参加しました。開催期間が前期6月30日（月）～7月6日（日）、後期9月2日（火）～7日（日）となり、前期は、2番茶の時期、後期は伊勢茶品評会と日程が重なりましたが、三重バザール事務局スタッフと県や伊勢茶推進協議会等関係者の協力により、伊勢茶のふるまい（水出しのかぶせ茶、深蒸し茶の飲み比べ）を実施しました。

多い日には、紙コップ（20～30㎖）5,000杯を超える提供となり、常に行列が絶えない盛況ぶりでした。

試飲が主目的でしたが、「おいしいので買いたい」との声があまりにも多かったことから、後期に2日間だけ販売もしました。

多くの来場者があることが背景ではありますが、売り方の工夫によっては、まだまだ茶の販売や消費を拡大させられる可能性を感じたイベントとなりました。

三重バザール　外景

三重バザールスタッフによるふるまい

観光PRスペースでの飲み比べ

購入要望が多く販売も

・その他

鈴鹿市も7月28日～31日　EXPOメッセにおいて、お茶をテーマにしたブースを所沢市、狭山市、入間市、生駒市と合同で出展、急須で淹れたお茶の提供や手もみ茶の実演が行なわれました。

観光誘客に伊勢茶も一役

県の観光施策において、①大阪・関西万博で注目され急増している関西地域へのインバンド客を三重へ、②本年度から準備が始まった2033年度の式年遷宮に向けての観光誘客等が重点的に行われています。また、歴史的にもお伊勢参りと関係の深い伊勢茶も一役買いたいと観光誘客事業にも積極的に参画しています。

・みえ旅レセプションへの参画

7月18日　ハイアットリージェンシー東京（東京都新宿区）で首都圏観光情報説明会「みえ旅レセプション2025」が開催され、参加されたメディア関係者、旅行会社、インフルエンサー約150名に対して、日本茶インストラクター協会三重県支部の協力を得て伊勢茶のPRを行いました。

「こんなおいしい茶の産地が三重にあることを知らなかった」（インフルエンサー）、「大型バスで茶園見学できる場所はないか」（旅行会社）等観光との連携の課題も浮き彫りになりました。

協力いただいた日本茶インストラクター協会三重県支部の方から、「お茶以外のことも勉強して、令和版の御師（おんし）として、伊勢茶のPRと三重への誘客に貢献したい。」と頼もしい提案がありました。

※御師（おんし）・・・室町から江戸時代に、伊勢神宮のお札を持って全国を回り、寄進（寄付）を集めた人たちのことで、寄進のお礼として伊勢茶も使われ、茶の産地伊勢が全国に知らされた。

・ヴィソン伊勢茶Fes.への参画

県の代表的リゾート施設であるヴィソン（多気町）において、一昨年より11月期に「伊勢茶Fes. In VISON」を開催していただいています。

茶業会議所としても、県や伊勢茶推進協議会と協力し、インストラクターの派遣や出店勧奨等の協力をしているところですが、さらにパワーアップを図りたいとの思いがあります。

本年度も11月1～9日に開催予定となっており、今後も継続していくため、会員の積極的な協力を求めて行きたいと思います。

関西茶品評会における上位入賞に向けた研修会

8月4日（月）三重県吉田山会館（津市）で、来年度三重県で開催される第78回関西茶品評会における上位入賞に向けた研修会を開催しました。

研修会には、関係茶業組合や県関係者約30名が集まり、県中央農業改良普及センターから栽培工の留意点が改訂した「出品茶栽培加工マニュアル」に基づき説明がありました。

また、手摘み作業の動画化等県の支援措置も紹介されました。茶業会議所としても出品強化茶園を指定し、県の支援も活用しながら上位入賞をめざしていきます。

本県では、近年、品評会への意欲低下が顕著化している状況ではありますが、再度、意欲を呼び戻し、これまで長年培ってきた技術を再確認するとともに、将来に向けて伝承していくための良い機会となりました。

第79回全国茶品評会及び第77回関西茶品評会の情報

・第79回全国茶品評会審査会（奈良県）が8月26日（火）～29日（金）に実施されました。残念ながら本県の入賞はありませんでした。

　また、9月18日（木）に実施された出品茶入札販売会では、てん茶の1等1席が200万円/kgで落札されるなど例年以上の高値で落札されました。

　なお、11月29日（土）～30（日）に大会式典（褒賞授与式）や消費者イベントが奈良市で行われます。

　「全国茶生産青年の集い」（審査技術競技会、夕べ）については、11月28日（金）に奈良市で行われます。

・第77回関西茶品評会審査会（京都府宇治市）が8月6日（水）～8月8日（金）実施され、深蒸し煎茶の部で㈲茶工房香肌　寺岡広治　氏が農林水産大臣賞を受賞するなど県内出品茶が好成績を収めました。

　また、9月10日（水）に実施された出品茶入札販売会では、てん茶の1等1席が70万円/kgで落札されるなど例年以上の高値で落札されました。

　なお、11月15日（土）に振興大会（褒賞授与）や消費者イベントが宇治市で行われます。

事務所移転しました

このたび、入居していましたビルの老朽化に伴い、下記のとおり事務所を移転することとなりました。
今後ともご支援を賜りますようよろしくお願いします。

〒514-0004　三重県津市栄町1-960　JA三重ビル7階　JA全農みえ内
TEL：059-226-8551　FAX：059-227-9654
E-mail：isecha-88.tea@peace.ocn.ne.jp

※お寄りの際は事前にご連絡いただきますようよろしくお願いします。

お知らせ　第48回伊勢茶振興大会の開催について

開催日時　令和7年11月26日（水）午後2時から
開催場所　津市新町1丁目6－28　プラザ洞津 孔雀の間（3F）
参加人数　150名程度
内　　容　(1) 大会行事　・茶業功績者表彰
・伊勢茶品評会褒賞授与（会頭賞　特別賞　産地賞）
・出品茶品質向上奨励金贈呈式
・大会宣言
(2) 研修会　・「伊勢茶の振興に関する条例（案）」骨子について
・「令和8年度関西茶振興大会三重県大会」について
(3) 懇親会

伊勢茶品評会を開催

審査の様子

品評会では、普通煎茶の部40点、深蒸し煎茶の部47点、かぶせ茶の部31点の合計118点が出品され、審査会（官能審査、価格審査）は、三重茶農業協同組合において以下の日程により富所康広茶業・花植木研究室長を審査長として17名の専門審査員で厳正に審査されました。

成 分 分 析	令和7年8月22日（金）
官 能 審 査	令和7年9月4日（木）
価 格 審 査	令和7年9月5日（金）

スタッフの作業

その結果1等に9名、2等に10名、3等に14名の方が入賞され、入賞者には令和7年11月26日（水）プラザ洞津で開催される第48回伊勢茶振興大会で褒賞授与を行います。

なお、今回は次年度三重県開催となる関西茶品評会の審査会場に予定している三重茶農業協同組合（前回（H30）の三重県開催会場）に会場を移して、準備段階から本番までリハーサル的な意味合いも含めて実施したことから、種々の課題も確認出来ました。今後も関係者で協議し、実施マニュアル等を整理してまいります。

その中から次の方々が特別賞を受賞されました。

第48回伊勢茶品評会特別賞

（普通煎茶の部）

農林水産大臣賞／三重県知事賞	1等1席	大台町	中西　一浩
東海農政局長賞／三重県議会議長賞	1等2席	大台町	中西由莉恵
全国茶商工業協同組合連合会理事長賞	1等3席	大台町	中西菜奈恵

（深蒸し煎茶の部）

農林水産省農産局長賞／三重県知事賞	1等1席	大台町	西村　一馬
東海農政局長賞／三重県議会議長賞	1等2席	大台町	西村　陽子
全国茶生産団体連合会長賞	1等3席	松阪市	ヤマキ高橋製茶園

（かぶせ茶の部）

農林水産大臣賞／三重県知事賞	1等1席	四日市市	㈲萩村製茶　萩村　和樹
三重県議会議長賞／（公社）日本茶業中央会長	1等2席	四日市市	㈲萩村製茶　萩村　重美
関西茶業協議会長賞	1等3席	四日市市	ヤマギシズム水沢美里実顕地 渡辺　智也

大事な茶樹を病害虫から守る！！

三重県農薬商業協同組合

理事長　中村剛明
副理事長　青木貴行
副理事長　加藤眞八

事務所　津市桜橋１丁目649番地
ＴＥＬ 059－225－7617
ＦＡＸ 059－225－5341

おいしいお茶に最適の肥料を！！

三重県肥料商業組合

理事長　加藤眞八
副理事長　九鬼十三男
常務理事　丹羽　通

事務所　津市桜橋１丁目649番地
ＴＥＬ 059－225－5341
ＦＡＸ 059－225－5341

KAWASAKI

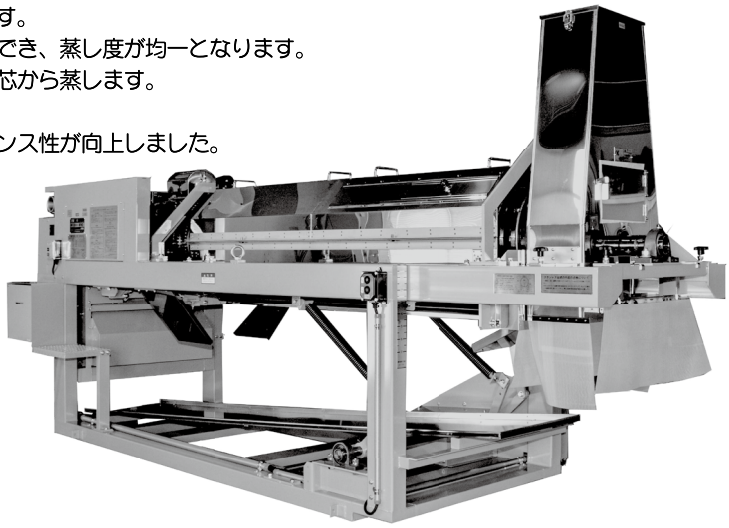
茶農家サポート宣言！
Shake Hands KAWASAKI

保温型ロータリー蒸機 H−MRW

3in1

蒸胴と回転蒸気噴出胴が別々に駆動する蒸機

●「蒸す」と「蒸らし」が別々に調整できます。
●大型生葉にしっかりと蒸気を当てることができ、蒸し度が均一となります。
●回転蒸気噴出胴内でしっかりと蒸気を当て芯から蒸します。
●蒸気量が削減でき省エネに寄与します。
●シンプルなフレーム構造により、メンテナンス性が向上しました。

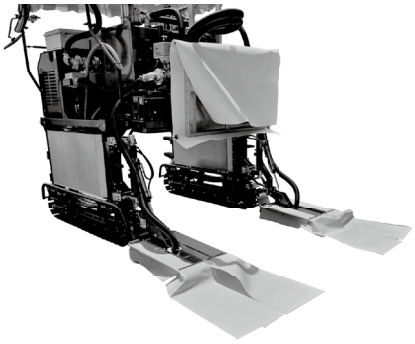


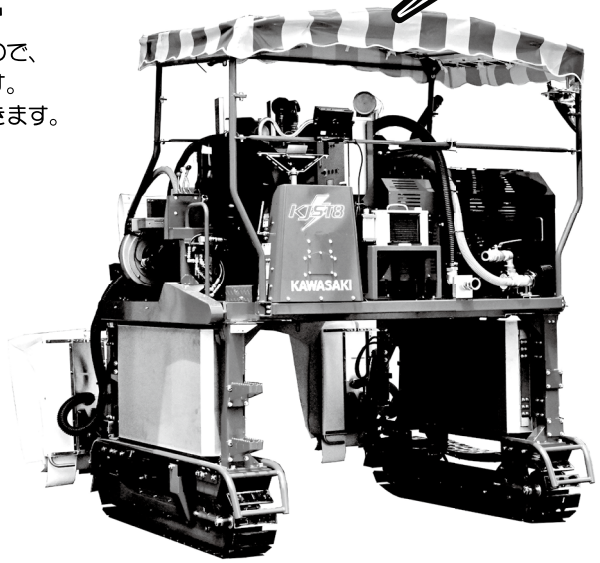
乗用型防除機 KJST8

KJST8

有機栽培茶園の除草対策に

●ボイラーで沸騰させた蒸気を畝間に直接吹き付けますので、
　茶樹を枯らすことなく雑草のみを枯らすことができます。
●除草作業後２４時間程度で、効果を確認することができます。
●繰り返し除草作業を行うことにより、
　雑草の生えにくい茶園になります。





カワサキ機工株式会社
本部 〒436-0005 静岡県掛川市伊達方 810-1　TEL 0537-27-1791 FAX 0537-27-1716

OCHIAI もっと手早く、高度な作業。さあ、あなたの茶園に確かな未来を築こう。

NEW

乗用型摘採機（コンテナタイプ）
OHC-11VB・33VB型
■コンテナ容量／11VB型：2.2㎥、33VB型：2.8㎥

Vブローブラシ方式により
高速摘採が可能に！
大容量コンテナ摘採機！

NEW

乗用型摘採機（コンテナタイプ）
OHC-5DVBⅡ型
（低床タイプ）
■コンテナ容量／1.6㎥

傾斜地に強い！
低い運転席で
バツグンの安心感！

茶摘機・茶園管理機
落合刃物工業株式会社
本社・工場／静岡県菊川市西方58　☎(菊川)0537-36-2161(代)FAX35-4643
関西亀山営業所／三重県亀山市布気町字山之下1500☎(亀　山)0595-82-0505
九州福岡営業所／福岡県八女市大字室岡449-1　☎(福　岡)0943-25-7010
九州鹿児島営業所／鹿児島県霧島市溝辺町崎森2958-1☎(鹿児島)0995-64-1122
http://www.ochiai-1.co.jp/
2005 750